

公道での農機事故は 安全確認と予防対策で 防げます！



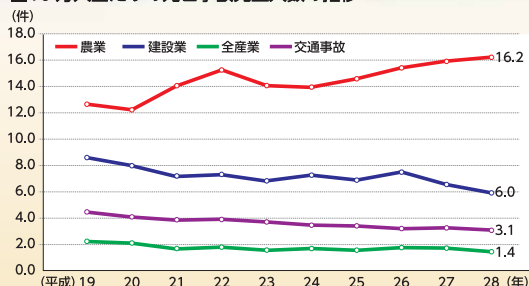
トラクターや運搬車などの
操作ミスが転落・横転を引き起こします。

！ ご存知でしたか？

農林水産省の最新の調査データによれば、農作業中の
事故で亡くなる方は近年350人前後で推移しています。
その死亡事故の発生件数は、グラフからもわかるように、
一般交通事故の**約5倍**、建設業の**約3倍**にも及びます。
それらのほとんどが不注意や、事故防止対策の不備が原
因と考えられます。

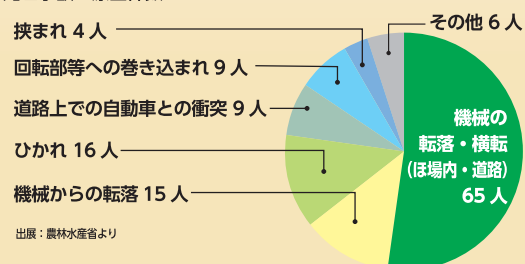
事故を未然に防ぐために、農機操作時の安全確認と事故
予防対策の見直しを考えてみましょう。

■10万人当たりの死亡事故発生人数の推移



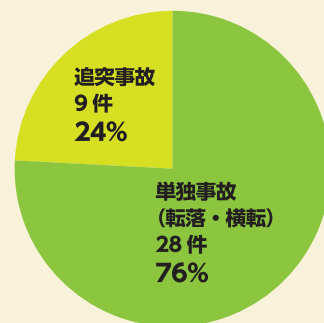
出典：死亡者数 農作業死亡事故調査（農林水産省）、死亡災害報告（厚生労働省）
就業人口 農林業センサス、農業構造動態調査（農林水産省）、労働力調査（厚生労働省）

■死亡事故の原因件数（平成28年乗用型トラクター、農用運搬車）



詳しい原因、対策は裏面へ

公道での事故例から学ぶ 原因と対策



出展：平成28年 警察庁資料より

■農耕車が関係する交通死亡事故の事故形態件数

原因

1. 単独事故

ハンドルやブレーキの操作を誤って公道から逸脱し用水路へ転落等
農機は重心が上にあるので、傾斜地での微妙な操作でバランスを崩しやすい。



2. 追突事故

公道を走行中、後続車が追突
特に夕方から夜にかけての時間、速度の遅い農耕車は後続車から発見されにくく、追突事故が起こる。



対策

農機による死亡事故対策の**3つのポイント**
死亡事故を防ぐには対策と準備が重要です。

ポイント1

シートベルトの着用と安全キャブ・フレームの装着

救命効果の高い安全キャブやフレームが付いているトラクターを利用※しましょう。
(安全フレームは倒さずに使いましょう)
トラクター等の農機運転中は必ずシートベルトを着用しましょう。
転落や横転、追突された場合に身体が投げ出されるのを防ぎます。
※車種によっては取り付けられないものもあります。



ポイント2

ブレーキ連結の確認

道路走行時は必ず左右のブレーキを連結しましょう。
ブレーキ連結をしていないと、ブレーキを踏んだときに急旋回して転落、横転する事故につながる恐れがあります。

ポイント3

低速車マークや反射板の取り付け

一般車両との接触や追突を防ぐためには周囲に気付いてもらうことが大切です。後続車から見えやすい位置に「低速車マーク」や「反射板」を取り付けましょう。
走行する前に低速車マークや反射板が泥で汚れたり、積載した荷物で隠れていないかチェックを。



単独事故の多くはハンドルやブレーキ等の操作誤りによって発生していますので、確実な運転操作を心掛けましょう。
その他にも、ヘルメットの着用や夜間走行を控えることなども事故防止の一つです。